

令和5年度

社会福祉法人仁多福社会事業

1. 法人経営理念

「献身・貢献」 「規律・秩序」 「努力・向上」 「縁・感謝」

2. 法人基本方針

○全ての人に対しその人らしさを尊重した対応を行う

○地域貢献

- ・地域の課題の顕在化と解決策の提案
- ・地域における身近な存在として日常的な相談などへの対応
- ・緊急事態下での地域への協力
- ・地域の伝統継承など地域活動への協力

○多様性に対応出来る人材の育成

- ・多様な価値観と共存できる人
- ・課題に気づき、解決に向けて自ら行動を起こす人
- ・想定外の事象に柔軟に対処できる人

○「働きたい」と思われる職場づくり

- ・互いを認め合い、自己実現への相互支援ができる職場

○感染症対策を行いながらの事業の実施

3. 法人令和5年度の重点課題

- ① 生産性の向上（質と効率のバランス）
- ② サテライト老人保健施設への移行計画の実施
- ③ 保育所の今後についての検討
- ④ 広報機能の充実
- ⑤ 人材不足への対応（外国人材の活用等）

令和5年度阿井保育所保育事業の概要

《仁多福社会保育所経営理念》

- ・仁多福社会の保育所は、0歳から就学前の乳幼児の最善の利益を求めめるための保育（養護と教育）を行う。
- ・職員は保護者や地域社会と力を合わせ、一人一人の育ちを見つめ、支える人として豊かな人間性と専門性の向上に努め、高い倫理観を持つ。

《保育理念》

- ・ 恵まれた自然環境の中でのあそびや体験活動、地域の人たちと触れ合う経験を一人一人を大切にしながら豊かな愛情ある環境のもとで、生きる喜びと生きる力の土台を育むことを基本とし、その健やかな育ちを支える。
- ・ 阿井の子育ての拠点として、安心して子育てができる環境を整え、子ども、保護者、保育者が共に育ちあう保育所を目指す。

《保育目標》

『たくましく心豊かな子』

- ・ 元気にあそぶ子
- ・ 仲良くできる優しい子
- ・ 意欲を持つ子
- ・ 自分で考えて行動できる子
- ・ よく噛んで何でも食べる子

《基本方針》

- ・ 阿井の自然の中で様々な体験活動を通して、豊かな感性を育て、健康な体づくりをしていく。
- ・ 地域の人や異年齢のふれあいを通して、人とかかわる力を育てていく。
- ・ 保護者とともに子供の自立性を育てながら、基本的な生活習慣を身に付けるようにしていく。
- ・ 地元野菜や旬なものを取り入れ、安全で体に優しい、心に残る食事作りに努める。
- ・ 積極的に小学校と連携をとり、安心して就学できるようにしていく。

《保育の中で大切にしている事》

○自然体験保育

- ・ 身近にある自然を大切に、体験活動の中で四季の変化に気づく豊かな感性を育てる。
- ・ 園外保育や散歩に出かけ、自然の中で思い切り体を動かして遊んだり、しっかり歩く経験を通して、体力づくりをしていく。
- ・ 米や野菜作りを行い、生物の成長の喜びや、働く事の大切さ、収穫の喜びを体験する。

○地域との交流、異年齢交流保育

- ・ 地域の中に積極的に出かけたり、地域の人を招いたりして触れ合い、人かかわる力を育てていく。
- ・ いろいろな年齢の子ども達との交流を通して、人を思いやる優しい気持ちや、やってみようとする意欲を育てていく。

○基本的生活習慣

- ・ 自分でしようとする気持ちを育てながら、毎日の繰り返しのなかで身につくように、保護者と連携を取りながら根気よく対応していく。

○食育

- ・地元野菜や旬の食材をできるだけ多く取り入れたり、子どもたちが栽培した野菜を使い、栄養のバランスに工夫した献立を作っていく。
- ・食育カレンダーやその日のメニュー展示、手作りおやつを試食やレシピの配布を行い、食事に対する関心を深めていく。
- ・手作りおやつで、手作りの温かさを伝える。
- ・栽培活動やクッキング保育などの活動を通して、食べ物への興味、関心を持ち、命をいただくという感謝の気持ちを持つことを伝えていく。
- ・心身の発達を促すために「咀嚼」を意識した献立の工夫やいろいろな媒体を使用し子どもたちに働きかけたり、壁新聞などを利用し保護者へも働きかける。

○小学校との交流

- ・小学校生活に見通しを持ち、期待感を持って就学できるように、小学校との連携・交流を深める。
- ・小学生の活動の様子を実際に見せてもらい、あこがれたり親しみを感じたりすることで、学校への緊張や不安を和らげる。

《保育事業》

- ・地域活動事業
育児講座、異年齢交流、世代間交流を行う。
- ・特別延長保育事業
18時半～19時までの延長保育を行う。

○令和5年度 クラス編成及び入所児童数

	組	ひよこ	りす		うさぎ	きりん	らいおん	
4月	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	人数	2名	3名	5名	7名	8名	8名	
	合計	2名	8名		15名		8名	33名
3月	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
	人数	7名	3名	5名	8名	8名	8名	
	合計	7名	8名		15名		8名	38名

○職員

	氏名	担当	職名	氏名	担当
園長	藤原 愛子	経営管理	保育士	鐘撞 凌子	うさぎ組・きりん組 (3・4歳児) 障がい児保育リーダー
			保育士	石山 瞳	うさぎ組・きりん組 (3・4歳児) 保健衛生リーダー (9月より産休・育児休暇)
主任	石原 美穂子	総括	保育士	伊藤 綾子	うさぎ組・きりん組 (3・4歳児) 12月より復帰
保育士	板持 志穂	りす組(1、2歳児) チームリーダー 研究リーダー 乳児保育リーダー	保育士	加藤 美保	ひよこ組(0歳児)
			支援員 保育助手	糸原 弥生	放課後児童クラブ
			支援員 保育士	小早川美有紀	放課後児童クラブ
保育士	中西 祐紀	ひよこ組(0歳児) 保護者支援リーダー 研究サブリーダー	栄養士	稲垣 仁美	調理担当 食育リーダー
			調理員	高田 昌子	調理担当
保育士	山田 芽衣子	らいおん組(5歳児) 小学校連携 幼児教育育リーダー 研究サブリーダー	内科嘱託医	前山 昌隆	町立奥出雲病院
			歯科嘱託医	高松 弘道	高松歯科

令和5年度 保育事業 定員(40名)

〔入所の状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	2	2	4	4	5	5	5	6	6	7	7	7	60
1歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
2歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
3歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
4歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
5歳児	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
合計	33	33	35	35	36	36	36	37	37	38	38	38	414
利用総数	615	647	696	616	662	695	737	718	728	631	701	659	8,105

本年度は33名でスタートし、6月、8月、11月、1月に予定していた0歳児5名の入所があった。
1月に38名となり、8名の卒園児を送り出した。

〔延長保育・特別延長保育 利用状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	2	0	0	0	3	0	3	2	2	2	0	14

保護者の方の就労形態に応じて対応し、安心して過ごせるように体制を整えながら保育を行ってきた。

〔開放保育 利用状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	7	3	1	0	1	0	1	0	0	1	1	15

今年度も感染症等の状況をみながら施設開放し、未就園のお子さんと保護者に遊びに来ていただいた。入園前のお子さんの保護者の方とは情報交換をしながら、入園へと繋いでいった。

〔相談事業 状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	0	33	0	0	1	0	1	0	1	38	0	1	71

「ほかほかタイム」 「個人面談」

5月、1月に個人面談日を設けたり、保護者が相談したいと思った時に話を聞き、生活リズムや離乳食、食事など家庭と園とで生活について共有しながら日々の保育や子育てに繋がるよう対応した。保護者の困り感や悩んでいることに寄り添い、安心して預けていただけるように信頼関係を築いていった。

〔わくわくふれあい週間 参加状況〕

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	3	2	4	4	8	2	4	5	0	2	2	7	43

園での生活や遊びの様子を見てもらい、保育について理解していただく機会として保護者に保育の参加を募り、取り組んできた。コロナなど感染症が治まり日常が戻ってきたことで、若干ではあるが参加が増えた。

5年度の取り組みのまとめとして

○保育所入園状況について

本年度は33名でスタートし、3月には合計38名になり、8名の卒園児を無事、送り出すことができた。

本年度も自然の中で行う体験活動を大事にした保育の中で、身体作りに焦点を当て取り組んできた。子どもたちの育ちを理解し、どのような働きかけが必要なのか語り合い、実践していくことに努め、成長を喜び合うことが出来た。

幼稚園の活動を理解し協力してくださる、保護者の方々や地域の方とつながることで経験の幅を広げ、体験できる活動が広がることも実感できた。

運動遊びの交流などを通じて、他の園の園児との交流を持ったことで同年齢で大人数だからできる遊びを経験し遊びへの意欲につながった。友達の考えを聞いたり、アイデアを出し合いながら遊びを進めていくことで学びにつながる時期の子どもたちには、そうした経験を促すためにも交流を計画的に持っていきたいと思っている。

○保護者とともに

- ・日常の声掛けや、子どもの様子の伝え合いなどを通して、かかわりを深めたり、阿井ならではのお母さん方と行う活動を通して親睦を深め、気軽に相談できる関係性を気付く一端を担うことが出来た。

- ・今年度は、保護者参加の活動も増え、園に出向いていただく機会も多くなった分、園の取り組みをさらに理解し、協力して下さり感謝している。参観に合わせ、給食の試食もしていただき、食を通して体作りを促していることにも関心を持っていただいた。

○地域・小学校とのかかわり

授業公開、保育公開を通しての連絡会や管理職連絡会を通しての情報交換、学校給食体験など、就学につながる連携を行ったり、学校より児童クラブに直接出向き、声をかけてもらい、子どもの様子を伝えあうなどこともできた。

○今後の課題

入所児の減少が続き、運営、経営共に厳しい状況にある。職員の産休も重なり、体制的にも余裕のない中で、協力し合いながら園全体で保育する体制をとってきた。

職員の中には、小さい子を抱えながら、高齢者を抱えながらなど、それぞれ、おかれている状況も様々で余裕がない毎日であることも窺える。

一人ひとりのモチベーションが上がり、やりがいを感じられる職場になるように、さらに運営に努力していきたい。

令和5年度 事業報告

月	園内行事	保護者参加事業	地域活動事業
4	進級お祝い式 4日 交通安全教室 28日	保護者総会 21日	しいたけ狩り・植菌活動(4・5歳児) 17日 じゃが芋植え(4・5歳児) 24日
5	子どもの日の集い 8日 妙楽寺花まつり(3・4・5歳児) 検尿、蟻虫検査 11日 泥んこ遊び(4・5歳児) 18日 田植え(4・5歳児) 24日	個人面談 15日～26日 全クラス なかよし畑作業 14日 茶摘み(阿井小との交流)5日 5歳児	妙楽寺花まつり(3・4・5歳児) 泥んこ遊び 23日 4・5歳児 田植え(4・5歳児) 24日 茶摘み(阿井小との交流)5日 5歳児
6	入園お祝い会 1日(0歳児) 親子遠足 17日(2歳児以上) 笹巻き作り(3・4・5歳児) 19日 トトロの楽校交流会(4・5歳児) 22日 ヤマメの放流(4・5歳児) 23日 奉仕作業・救急法講習会 25日 オロチ号交流(4・5歳児) 26日 プール開き 30日	入園お祝い会 1日(0歳児) 親子遠足 17日(2歳児以上) 笹巻き作り(3・4・5歳児) 19日 トトロの楽校交流会(4・5歳児) 22日 奉仕作業・救急法講習会 25日	幼小連絡会 ヤマメの放流(4・5歳児) 23日 オロチ号交流(4・5歳児) 26日
7	七夕まつり 7日 盆踊り練習会10日 おはなしなあに14日 プール参観24～9日 夏祭り29日	あいサンホーム神輿担ぎ(中止) 役員会・女性部会 プール参観24～9日 夏祭り29日	笹受け渡しセレモニー 6日 あいサンホーム神輿担ぎ(中止) かかし立て 20日 4・5歳児 そばの種まき体験(阿井小交流) 27日 夏祭り29日
8	人形劇観劇4・5歳児25日 入園お祝い会 1日(0歳児) ブルーベリー狩り(5歳児・学童) 2日 読み聞かせ(保護司会) 24日	入園お祝い会 1日(0歳児) プール参観1～9日	阿井地区盆踊り大会 ブルーベリー狩り(5歳児・学童) 2日 読み聞かせ(保護司会) 24日
9	稲刈り体験(4・5歳児) 12日 交通安全事業所訪問21日 保育参観・給食体験(3・4歳児) 20日	交通安全マスコット作り1日 交通安全事業所訪問21日 保育参観・給食体験(3・4歳児) 20日 園庭整備作業30日(役員)	稲刈り体験(4・5歳児) 12日 交通安全事業所訪問21日 地区民運動会24日
10	親子運動会(全園児) 7日 からすみ城登山(4・5歳児) 16日 芋掘り17日 秋の遠足(3・4・5歳児) 20日 給食体験(5歳児) 24日	親子運動会(全園児) 7日 連合保護者会3B体操(町体) 母の集いクッキング28日	職場体験 3日～5日(仁多中生との交流) からすみ城登山(4・5歳児) 16日 芋掘り17日 給食体験(5歳児) 24日
11	入園お祝い会 1日(0歳児) サンホーム太鼓演奏交流1日 可部屋太鼓演奏(4・5歳児) 7日 ヘルスメイトクッキング(5歳児) 15日 バス遠足(1・2歳児) 15日	入園お祝い会 1日(0歳児) 可部屋太鼓演奏(4・5歳児) 7日 クラス懇談会(全クラス)	サンホーム太鼓演奏交流1日 可部屋太鼓演奏(4・5歳児) 7日 ヘルスメイトクッキング(5歳児) 15日
12	しめ縄作り(5歳児) 1日 生活発表会(全園児) 16日 給食体験(5歳児) 19日 クリスマス会 23日	しめ縄作り(5歳児) 1日 生活発表会(全園児) 16日 給食体験(5歳児) 19日	しめ縄作り(5歳児) 1日 クリスマス会 23日
1	新年お楽しみ会 9日 とんどさん 12日 絵本ライブ(4・5歳児) 15日 給食体験(5歳児) 17日 そば打ち体験 21日(5歳児親子) 入園お祝い会(0歳児) 25日 保育参観・給食体験(1・2歳児) 26日	個人面談 15日～26日(全クラス) 給食体験(5歳児) 17日 そば打ち体験 20日(5歳児親子) 入園お祝い会(0歳児) 25日 保育参観・給食体験(1・2歳児) 26日	そば打ち体験 20日(5歳児親子)
2	幼小連絡会(5歳児) 30日 保育参観日・給食体験(5歳児) 1日 節分 3日 ランバイク教室(4・5歳児) 8日 収穫祭・餅つき14日 ふれあいサロン交流(5歳児) 17日	阿井小一日入学 1日(5歳児親子)	収穫祭・餅つき14日 ふれあいサロン交流(5歳児) 17日
3	ひなまつり会 2日 内科健診 5日 不審者対応訓練11日 5歳児お別れ遠足18日 令和5年度卒園式 22日	保護者総会 2日 令和5年度卒園式 22日	
年間	・入園お祝い会(随時) ・身体測定 ・誕生会 ・避難訓練 ・弁当日・おやつ試食日(夏季除く)	・町内保育所、阿井小学校との交流 ・トトロの楽校(音楽療法) ・あいのゆめ(読み聞かせ) ・げんきあっぷ運動遊び4歳児(5月・7月・8月・9月・10月)布塾、亀嵩幼と交流 ・ジョイナス運動遊び5歳児(7月・10月・11月)三成幼と交流	・ほかほかタイム(個人面談) ・わくわくふれあい週間(毎月) ・施設開放の日(第2水曜日)

○保健衛生実施報告

内 容	対象児	実施月日	
健康診断 内科健診	全園児 新入園児	年 2 回(6月・10月・3月) 10月・1月	奥出雲病院…前山昌隆小児科医師による健診を行った。
歯科検診	全園児	年 1 回(12月)	高松歯科…高松弘道歯科医師による検診を行った。
フッ化物洗口	4・5 歳児	毎日 昼食後実施	クラスで一斉指導により実施した。
身体測定	全園児	毎月末	身長計測・体重の増加や減少から発育状況を把握していった。
蟻虫検査	全園児	年 1 回(5月)	健康状態や病気などの把握をした。
検尿検査	2歳児～ 5 歳児	年 1 回(5月)	健康状態や病気などの把握をした。
保健だより	保護者	プール開始時や 感染症流行時期	プール準備、健康チェックカード配布や記入のお願いをした。感染症についてお知らせをし、注意喚起を行った。
園児への保健指導	全園児		手洗い・うがいや歯磨き指導を行った。 又、鼻をかむ指導やトイレトペーパーの使い方の指導を行った。
流行が予想される 感染症について		保健だより クラスだより 玄関の掲示など	新型コロナウイルス感染症や夏場の感染症(ヘルパンギーナ、咽頭結膜炎、溶連菌感染症、手足口病、とびひなど)について保健だよりで知らせたり、注意喚起を行った。
その他の保健に関する取り組み			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全園児の検温、視診、触診をし、健康状態を把握して、適切な対応や保護に努めた。 ・乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として睡眠チェックを継続して行った。 <ul style="list-style-type: none"> …1歳未満児はうつぶせ寝にならないように気を配り、5分おきにチェックし記入。 …1、2歳児は10分おきにチェック ・予防注射の接種状況を確認し、未接種児については接種を促したり啓発に努めた。 ・定期健診の日程を把握し、対象児については受け忘れないように保護者に伝えた。又、結果内容を知らせてもらい、園と家庭とで子どもの育ちについて共有した。 ・園児や職員の体調管理を把握し、サーベランスの記入を行った。 ・地域や近隣施設での感染症状況の把握や情報交換をして、感染拡大防止に努めた。

○防災・安全対策について

- ・消防計画による避難訓練を毎月行った。火災の他の訓練も行い、職員の組織体制をしっかり固め、災害発生時の行動手順を通して身に付けて、速やかに行動できるように取り組んだ。
- ・緊急時用の簡易テントや無線機などを使用した訓練を行い、万が一の場合に備えて使用方法や対応について確認した。また、子どもの動きも把握し、今後の訓練に活かせるようにしていく。
- ・長年にわたる自園の幼年防火活動に対して島根県より表彰を受け、子ども達と職員で防火や防災について話をする場を設けた。

〈緊急時における引き渡し訓練の見直し〉

※緊急事態発生の場合の受け渡しについて、昨年度の実施からマニュアルの作成に取り掛かっている。まずは研修を受け、どこが重要なのか、ポイントも指導を受けた。職員間で検討して次年度には完成の予定。今後、園と家庭で共有して緊急時に備えていく。

〈総合避難訓練〉

○2/28(水) 9:45～ 指導 奥出雲消防署署員 3名

- ・内容…火災発生想定での非常ベル使用、避難訓練を実施し指導していただいた。
職員による消火器使用での訓練、3・4・5歳児を対象に煙体験も行い、ハンカチや手で鼻・口を押さえて体勢をできるだけ低くして避難するなど指導していただいた。

※実際、消火器使用や煙体験をすることで、緊急時の対応について改めて考えたり意識する機会だった。職員間で共有し、今後の訓練や万が一の緊急時に冷静な対応ができるようにしていく。

〈不審者対応訓練・交通安全教室〉

○3/7(木) 10:30～ 指導 阿井駐在所 大島健一郎巡查長

- ・内容…園児と職員を対象に、不審者対応時の注意や対応について指導していただいた。
「いかのおすし」について、子ども達への指導。
簡易信号機や横断歩道シートを使用しながら、安全な道路の横断の仕方を指導していただいた。

※園児は「いかのおすし」についての話を真剣に聞きながら、改めて安全について意識する機会であった。職員も実際に発生した場合の職員の対応や注意点や身の安全を確保すること、叱咤の適確な判断や職員間の連携など日頃から意識し共有できるようにしていく。

※引き続き、不審者対応についても日々の保育の中や活動を通して、繰り返し子ども達に伝えていく。

○各種点検について

- ・各設備の点検や保育内容における安全性、緊急時の対応などを職員間で共有し、子ども達が安心・安全に過ごせる環境づくりを行った。
- ・園舎や保育室内外の衛生や安全に気を配り、子ども達が安全に元気に活動できる環境を整えた。
- ・感染症の発生や拡大を防ぐために消毒液の使用や換気などを行った。又、保健所の感染状況の情報をもとに、保健だよりなどで家庭に注意喚起を行った。

危機管理	防災自主点検 備蓄品点検 避難訓練、消火避難訓練 火災総合訓練(消防署立ち合い) 不審者対応訓練 設備・遊具安全点検チェック	年2回 年1回(3月) 毎月1回 年1回(2/28) 年1回(3/7) 毎月1回	非常灯、非常ベル、消火器 避難口、誘導灯の点検 非常食の賞味期限のチェック、補充 備蓄品の破損チェックや修繕 火災、地震、水害、土砂災害 非常ベル、初期消火訓練、煙体験 巡査長立ち合いのもと園児安全教育『いかのおすし』 チェック項目で点検、不備破損は修繕
衛生管理	衛生管理点検、消毒 屋内、玩具、トイレ 衛生管理点検表、給食室 個人体温チェック 検便、細菌検査 保護者、来園者の衛生	毎日、昼・夕方 園児降園後 毎日 出勤前、出勤時 日中、退勤時 来園時	} 次亜塩素酸水 検温し、チェック表に記入 給食・乳児担当他月1回、年3回 玄関で手指消毒 総会等の集会時の換気
運営管理	保護者アンケート調査、評価 職員評価、自己評価	} 年1回	保護者からの要望や意見などを受け、職員間で共有し保育の振り返り見直しをし、更に保育向上・保育士としての資質向上を目指していく。

令和5年度 職員研修

○全国・県関係

月日	研修名	開催地	参加者
5月16日・7月11日 8月8日・9月13日 12月5日	県レクリエーション協会 元気アップ事業 運動遊び(4歳児)	三成(町立体育館)	石原・鐘撞
6月12日・7月19日 11月27日	ジョイナス運動遊び(5歳児)	三成幼稚園	石原・山田
5月15日・31日	管理職研修	オンライン	藤原
5月17日～19日	キャリアアップ(チームリーダー)研修	松江	石原
6月10日・25日 7月2日・16日	児童クラブ支援員研修	出雲	加藤
8月21日～30日	全国食育推進研修	オンデマンド配信	稲垣・高田
8月23日	幼児教育推進研修	松江	山田
8月26日	食育推進研修	松江	稲垣
9月2日	保育士保育教諭スキル研修	松江	鐘撞
9月19日～10月8日	主任保育士・主幹保育教諭研修	オンライン	石原
9月24・10月15日 11月18日・25日	児童クラブ支援員研修	出雲	石原
11月28日～30日	キャリアアップ研修(保健衛生・安全)	松江	鐘撞
1月5日～中旬	発達支援フォーラム研修	オンライン	糸原
1月15日～2月29日	キャリアアップ研修(食育)	オンライン	中西
1月15日～2月29日	キャリアアップ研修(乳児保育)	オンライン	板持
1月26日	保育者研修会	出雲	藤原
2月2日	全国子ども健全支援リーダーセミナー	オンライン	糸原

※『放課後児童クラブ支援員研修』を積極的に受けて、資格取得と資質向上に取り組み、児童が放課後を安心して過ごせる体制づくりを行った。

※『県レクリエーション協会の運動遊び(4歳児)』『ジョイナス運動遊び(5歳児)』の研修に積極的に参加し、楽しく身体を動かしながら幼児期の運動や体作りについて学ぶことができた。

又、他園の子ども達と高め合いながら交流する良い機会となった。特に5歳児については、研修後も交流の場を持ち、就学に向けて貴重な経験になった。

○雲南保育協議会

月 日	研修名	開催地	参加者
4 回	施設長部会	木次	藤原
4 回	保育士部会	木次	石原
4 回	調理担当者会	木次	稲垣
5 月 23 日	保育士研修・語る会	木次	石原
6 月 20 日	保育を語る会実技研修「足育」	奥出雲(三成)	石原
6 月 29 日	保育を語る会実技研修「療育」	木次	加藤
7 月 6 日	保育を語る会実技研修「絵画」	掛合	山田
8 月 3 日	保育士研修「アナログ遊び」	奥出雲(布勢)	石原・鐘撞
8 月 23 日	保育を語る会実技研修「保健」	木次	加藤
9 月 29 日	保育を語る会「音楽遊び」	木次	加藤
10 月 3 日	公開保育(3歳児・4歳児・5歳児)	三成	石原
10 月 17 日	保育を語る会「県大会発表に向けて」	木次	石原
10 月 28 日	県大会	益田	藤原
11 月 2 日	公開保育(2歳児・5歳児)	四つ葉	山田
11 月 8 日	公開保育(4歳児)	加茂	鐘撞
12 月 2 日	保育を語る会(人権)	奥出雲(阿井)	石原・伊藤・加藤・高田

※各種語る会や研修に参加して、他のブロック会員と共に学んだり、交流する機会となった。

※県大会に向け、施設長部会や保育士部会にて公開保育発表の研修や検討を行った。

○仁多福祉社会保育所研修（年齢別保育公開）

テーマ：「主体的に学びに向かう力を育むために」・・・未満児保育を学ぶ

講師： 国立大学法人島根大学本部 理事 肥後功一 氏

5月17日	「主体的に学びに向かう力を育むために」	三成	藤原・石原・板持・中西・山田
6月27日	2歳児クラス保育公開	横田	若槻
7月20日	0歳児クラス保育公開	阿井	藤原・石原・中西・加藤
9月27日	0・1・2歳児クラス保育公開	馬木	石原
10月7日	2・3歳児クラス保育公開	布勢	石山
11月17日	1歳児クラス保育公開	横田	鐘撞

※午前中、各年齢での保育公開をし、午後からテーマに沿った視点での協議や交流を深めた。

他園の保育や環境を見ることで自分の保育の見直しやお互いに共有する良い機会となった。

○奥出雲町研修

月 日	研修名	開催地	参加者
6月9日・23日	保育士寺子屋①・②	三成・横田	中西・小早川
6月19日	仁多中校区の教育を語る会	三成	石原
8月22日	要保護児童対策地域協議会研修	三成	藤原・板持
8月19日	特別支援教育コーディネーター研修	三成	石原
11月22日	幼少接続研修	三成	山田
2月 7日	児童クラブ指導員研修	三成	糸原

※福祉会幼児園だけでなく、町内の小学校や中学校などの教育関係者と共に学ぶ機会となった。
奥出雲町の子ども達の健やかな育ちを乳幼児期から繋いでいき、情報共有しながら連携して
いく必要性を感じた。

○園内研修

月 日	研修内容	参加者
毎月	カリキュラム検討会	藤原・石原・各チーフ
毎月	定例職員会…各種研修報告	全職員
6月25日	救急法講習会	全職員
6月28日	幼児教育センター研修(安全計画について)	藤原・石原・板持・鐘撞・山田・中西石山・稲垣

※カリキュラム検討会(毎月一回)…先月の保育の評価反省、当月の保育計画、日々の保育や子どもの様子、
保護者対応などの検討を行い、職員間で情報を共有していった。

※幼児教育センター研修 「安全計画」について

…防災や緊急時の対応訓練だけでなく、園舎内外の環境の安全の見直しを行いながら、子ども達が
元気で安心安全に毎日を過ごせるように環境づくりを行うことの必要性を学んだ。

又、引き渡し訓練については現在見直しをしている途中で、今後も引き続き研修を受けていきたい。

〔令和5年度 苦情受付報告〕

☆ 苦情受付担当者	主任保育士	石原 美穂子
☆ 苦情解決責任者	所 長	藤原 愛子
☆ 第三者委員		立石 典夫 吉川 しのぶ

【苦情対応について】

	苦情内容	対 応
苦情受付日 12/13(水)	○生活発表会で我が子が発表する活動の内容や取り組みの中での担任の対応について、問い合わせがあった。	○降園時、迎えに来られた母親が、主任に声をかけられ、受け付ける。 担任に状況を確認をした上で所長に報告し、担任と保護者の面談を行った。
苦情申し出 母	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会の活動に取り組んでいる頃、我が子が休んでいる時に活動の内容や役柄が決まっていた、「やりたいことや一緒にやりたい友だちとできなかった」と、翌日帰宅後、話していた。 ・緊張しやすく、表現しにくい子のことを「お願いね」と託されて負担感を感じたようで日ごとに表情が暗くつまらなそうに帰宅し、やはり本人が納得していないようだった。 ・又、我が子の表現する内容が、果たして年齢としてふさわしい活動なのか、取り組みの経過や担任の対応、配慮にも不信感をもった。 	<ul style="list-style-type: none"> しかし、担任の話だけでは納得されず、所長と面談をし、再度話を聞き改善報告をした。 ・クラス全体で再度話し合いの場を設け、役割や表現の仕方を丁寧に確認し、本児の得意なことも織り交ぜ、活動に取り組んだことで本児も意欲的に取り組めた。 ・職員会で報告し、改めて園児、保護者に丁寧なかわりをしていくことを確認し合った。そして、対応の難しい場合、管理職にも早めに相談するように伝えた。

令和5年度 地域交流活動事業報告

【事業目的】

- お米や野菜・花作りなど、地域の方に教わりながら、生物の生長の喜びや働くことの大切さ、収穫の喜びを体験する。
- 地域の中へ積極的に出かけ、地域行事へ参加したり、招いたりする中で、いろいろな世代の人達と触れ合いを通して、人と関わる力を育てていく。
- 地域の方園での活動や子ども達に関心を持ち、理解していただけるように、様々な方法で発信していく。

【事業内容】

- 田んぼ活動・・・どろんこ体験 (5/18) 4・5 歳児 16名、職員 5 名、地域の方 5 名 参加
- 田植え (5/24) 4・5 歳児 16名、職員 5 名、地域の方 11 名 参加
- かかし立て(7/26) 5 歳児8名、職員 3 名、地域の方5名 参加
- 稲刈り(9/12) 4・5 歳児 16名、職員4名、地域の方13名 参加
- 脱穀・粃摺り (9/27) 4・5 歳児 15 名 職員 4 名 地域の方6名 参加

○畑活動・・・地域の方に教えてもらいながら苗植えや収穫を一緒に行い、身近な野菜の生長を観たり、育てる喜びを感じる体験となった。

[夏野菜(なす・ピーマン・キュウリ)、玉ねぎ、大根白菜の苗植え・収穫
じゃが芋の苗植え、じゃが芋掘り さつま芋の苗植え、芋掘り]

- 茶摘み体験(5/26)・・・5 歳児 8 名が参加、小学校の茶園でお茶摘みをした。
- ヤマメの放流(6/23)・・・4・5 歳児 16名参加、漁業組合の方と交流、地域の身近な川や自然・魚を知る機会となった。
- そばの種まき(7/21)・・・5歳児8名が参加、地域の方に指導していただきながら、小学生 3・4 年生と一緒にそばの種まき体験をし交流した。
- あいサンホーム納涼祭・神輿担ぎ交流・・・サンホームの都合により中止
- 秋の交通安全週間呼びかけ運動(9/21)
 - ・・・女性部保護者を中心に交通安全マスコットを製作。
 - 子ども達で作った呼びかけのポスターと手紙と一緒に、白鳥クラブ会長や大島巡查さんと区内17ヶ所の事業所や施設を訪問し、交通安全を呼びかけた。
- 唐墨城登山(10/16)・・・4・5歳児が参加、地域の山の会の方に案内をしてもらいながら、地元の山城跡に登り、地域の歴史や身近な草花等の話をしていただいた。手作りの遊具も準備してくださり、自然と関わりながらいろいろな発見があり、学びの機会にもなった。
- あい響太鼓演奏(11/1)あいサンホーム
 - ・・・3・4・5 歳児21名があいサンホームに出かけて、太鼓演奏交流を行った。夏の神輿担ぎが都合で中止となったが、それに代わる良い交流の場となった。
- (11/7)可部屋集成館
 - ・・・保護者の方や地域の方々に応援していただき、演奏する喜びや達成感を味わう良い経験となった。

○締め縄づくり体験(12/1)・・・5歳児 8名、地域の方3名参加

地域の方に教えてもらい、米作りでできた藁で締め縄作りを行った。米作りとのつながりや、伝統文化、技を学ぶ機会となった。

○そば打ち体験(1/20)・・・5歳児親子 16名 地域の方 5名が参加

収穫したそば粉で、地域の方にそば作りを教えていただき、交流した。

○収穫祭(2/14)・・・田んぼや畑活動で、一年間お世話になった地域の方と、収穫を喜び、感謝の気持ちを伝える機会を持ち交流した。

○ふれあいサロン(2/15)・・・地域のお年寄りの方々と4・5歳児が交流した。一緒に折り紙をしたり手遊びなどで触れ合い、交流した。

○そば打ち体験(1/20)・・・5歳児親子 16名 地域の方 5名が参加

収穫したそば粉で、地域の方にそば作りを教えていただき、交流した。

※ 地域行事への参加

地域の行事(地区民運動会、盆踊り大会)など実施された行事に参加し交流できた。

地域の方の、幼稚園活動の協力や子ども達への指導など様々なご支援をいただき、地域の中で育てていただいている事に改めて感謝の思いを感じた。

※ 7園保育所、阿井小学校、仁多中学生との交流

同年齢や異年齢の交流を行ったり、仁多中学生の職場体験を通して、あこがれや関心を深める機会となった。

小学校との交流では、ロードレースの応援をしたり、5歳児の給食体験など通して就学への期待がもてるように連携を図りながら交流の機会を持った。

〔放課後児童健全育成事業〕

【目的】

放課後児童クラブ『あい』は自然豊かなこの阿井の地で出会い、触れ合い、助け合い、育ちあい、そして学びあっていけるようにと願い、安心できる居場所作りに努め、児童の健全育成を目指します。家庭的穏やかな雰囲気の中で、一人一人が伸び伸びと元気で過ごせる、笑顔いっぱいのクラブです。

【活動内容】

☆学習（宿題・予習・復習）の習慣づけをします。

☆自由遊びでは、自分たちで考え、見つけ出し、作りだして遊びます。

又、いろいろな体験活動を行います。（畑活動・クッキングなど）

☆地域の方との触れ合いや公民館活動参加など、地域との交流も大切にします。

☆町内の児童クラブとの交流活動を通して、つながり作りを行っています。

☆読書タイムで本に親しみます。

【対象児童】

保護者の就労等により、帰宅後、家庭に保育者がいない小学生を対象に行います。

【利用時間】

平日 下校時～18時30分

土曜日 8時00分～18時30分

学校の休業日 8時00分～18時30分

【料金】

支援員 糸原 弥生（保育助手と兼務）

支援員 小早川美由紀（ ” ” ）

【利用児童数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
年間利用	152	153	168	113	121	131	113	148	137	117	117	106	1,576
一時利用	61	52	49	48	52	56	35	61	51	38	39	39	581
合計	213	205	217	161	173	187	148	209	188	155	156	145	2,157

【事業内容】

☆4月 ・入学、進級お祝い会

☆6月 ・奉仕作業

保護者の方にお世話になり、児童も一緒に園舎や園庭の清掃を行った。

☆7月 ・川遊び

年長児と一緒に阿井川で川遊びを楽しんだ。

・お花の教室

地域の方に教わり、自由に花を生けることを楽しんだ。

☆8月 ・ブルーベリー狩り（幼稚園年長児との交流活動）

バスで八川の橋本農園へ行き、ブルーベリー狩りを体験した。

収穫した物でジャムを作り、味わうことも楽しんだ。

・昼食クッキング

昼食にカレーを作って食べた。

・お祭りごっこ

手作りの金魚すくい、的あて、おめん屋、ビンゴなどをし、お祭りの気分を味わった。

・プール

小学校のプール開放に出掛け、水遊びを楽しんだ。

☆12月 ・クリスマスお楽しみ会

手作りのおやつをみんなでいただいた。

・クッキング

豚汁とおにぎりを作って食べた。

・大掃除

年末のため、窓拭きやロッカーの掃除、床の雑巾がけなどの大掃除を行った。

☆1月 ・新年お楽しみ会

始業式のため、幼稚園の行事には参加できなかったが、放課後にお店屋さんで買い物を楽しんだ。

☆3月 ・お楽しみクッキング

昼食を作り、一年間一緒に過ごしてきた友だちと楽しく会食をした。

・大掃除

年度末のため、新年度に向け、ロッカーや下駄箱などの大掃除を行った。

☆とらいあんぐるタイム

宿題後に読書の時間を設け、職員が読み聞かせを行ったり、個々の読書の時間を保障し、たくさんの本に親しんだ。

☆公民館活動に参加

・5月 『木片・小枝を使った自然工作』（森林インストラクター指導）

・6月 『ポッチャ』（軽スポーツ）

・9月 『バームクーヘン作り』（森林インストラクター指導）

・10月 『ペタンク』（軽スポーツ）

・3月 『唐墨城跡登山』（唐墨城跡を楽しむ会）